

殺菌剤

カナメ

フロアブル®

現る

防除の要、

カナメ



- ① 幅広い病害に対し安定した防除効果を示します。
中でも担子菌(リゾクトニア病害、白絹病、さび病、赤星病等)やリンゴ黒星病、ナシ黒星病等に対し高い効果を示します。
- ② 浸達性、浸透移行性を有します。
- ③ 多くの作物で収穫前日まで使用が可能です。
*詳しくは適用内容をご確認ください。

特長

適用病害の範囲及び使用方法(裏面もご覧ください)

2023年11月現在の登録内容(赤字は2023年11月7日適用拡大)

作物名	適用病害名	希釈倍数(倍)	使用液量(ℓ/10a)	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	インピルフルキサムを含む農薬の総使用回数	
かんきつ	灰色かび病	4000~8000	200~700	収穫前日まで	3回以内	散布	3回以内	
	そうか病、黒点病	4000						
りんご	黒星病、すす点病 すす斑病、斑点落葉病 うどんこ病、褐斑病 黒点病、モニリア病 赤星病							4000
	なし	黒星病、赤星病 輪紋病、黒斑病						
		小粒核果類						
	もも							
ネクタリン	うどんこ病、さび病 うどんこ病、褐斑病	4000						
おうとう		4000~8000						
ぶどう	うどんこ病	4000						
	灰色かび病	4000~8000						
かき	うどんこ病 灰色かび病、落葉病	4000						
きく	白さび病	4000~8000	100~300	発病初期	1回	15分間球根浸漬	1回	
チューリップ	皮膚病、葉腐病	100~200	—	植付前				
りんどう	黒斑病	4000	100~300	発病初期				3回以内

適用病害の範囲及び使用方法 (表面もご覧ください)

2023年11月現在の登録内容 (赤字は2023年11月7日適用拡大)

作物名	適用病害名	希釈倍数 (倍)	使用液量 (ℓ/10a)	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	インピルフルキサムを含む農薬の総使用回数				
麦類	雪腐小粒菌核病	2000~4000	60~150	根雪前	2回以内	散布	4回以内 (根雪前は2回以内、 根雪後は2回以内)				
	赤さび病	4000~8000		収穫7日前まで							
	うどんこ病										
トマト ミニトマト	うどんこ病、菌核病 すすかび病、灰色かび病 葉かび病	4000	100~300	収穫前日まで	4回以内	散布	4回以内				
きゅうり	うどんこ病、菌核病 灰色かび病										
にんじん	斑点病										
結球あぶらな科葉菜類 (はくさい、 キャベツを除く)	菌核病										
はくさい	菌核病、尻腐病										
キャベツ	菌核病、株腐病										
フロッコリー	菌核病、黒すす病										
レタス類	菌核病、灰色かび病 すそ枯病										
いちご	うどんこ病、灰色かび病										
豆類 (種実、ただし、あずき、 そらまめ、だいず、 らっかせいを除く)	菌核病、灰色かび病							400	-	植付前	1回
だいず	白絹病										
あずき そらまめ	菌核病、灰色かび病 さび病										
ばれいしょ	黒あざ病	4000	100~300	収穫前日まで	4回以内	散布	4回以内				
たまねぎ	夏疫病	4000									
	灰色かび病、小菌核病	4000~8000									
ねぎ	灰色腐敗病							4000			
	さび病										
	黒斑病、葉枯病										
豆類 (未成熟、ただし、 さやえんどう、未成熟 そらまめを除く)	白絹病	4000~8000						4000	株元散布	散布	4回以内
	黒腐菌核病										
	菌核病、灰色かび病										
未成熟そらまめ さやえんどう	菌核病、灰色かび病 さび病										

△ 使用上の注意事項

- 使用前によく振ってから使用してください。
- 使用量に合わせ薬液を調整し、使いきってください。
- 散布量は対象作物の生育段階、栽培形態及び散布方法に合わせて調整してください。
- 散布液調整後はそのまま放置せず、できるだけ速やかに散布してください。
- 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬書の有無を十分確認してから使用してください。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。
- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにしてください。かかった場合3日間は給桑しないでください。

- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法等を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。
- 医薬用外劇物。取扱いには十分注意してください。誤って飲み込んだ場合には吐き出させ、直ちに医師の指導を受けさせてください。本剤使用中に身体に異常を感じた場合には直ちに医師の指導を受けてください。
- 使用の際は防護マスク、不浸透性手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをしてください。
- 施設内で使用する場合、窓等を開放し十分に換気してから施設内に立ち回ってください。
- 水産動植物(魚類)に影響を及ぼすおそれがあるので、

- 河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。
- 使用残りの薬液が生じないように調整を行い、使いきってください。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。
- 浸漬後の薬液は、河川等に流さず、水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。
- 直射日光を避け、食品と区別して、鍵のかかるなるべく低温な場所に密栓して保管してください。

●使用前にはラベルをよく読んでください。 ●ラベルの記載以外には使用しないでください。 ●小児の手の届く所には置かないでください。 ●空袋・空容器は圃場等に放置せず適切に処理してください。